

平成22年度 特別養護老人ホームふるさと（長期入所）事業計画

【理念】

団体生活の枠にとらわれず、家庭生活により近い施設生活の提供を行う。

【年間目標】

- (1) 自立支援に向けた取り組み
- (2) 職員の質（知識・技術・意識）の向上
- (3) サービスの質の向上
- (4) チームワークの構築
- (5) ご家族様との太いパイプ作り
- (6) 生活環境の更なる向上
- (7) 短期入所者と合わせて99.5%以上の稼働率を目指す

【実践計画】

- (1) 自立支援に向けた取り組み
 - ・自立支援に向け、職員の意識改革を図り、モチベーションを継続し続ける体制作りを行う。
 - ・個々の身体状況に合わせた水分補給を実施し、1日1500ccの水分摂取を目標とする。
 - ・オムツ外し0への取り組み。紙オムツ、リハビリパンツから布パンツへ移行し、日々、一人ひとりの入居者様に合った自立支援に取り組む。
 - ・個々に応じた歩行リハビリを実施する事で、歩行過程を通し、日常生活（食事・入浴・排泄等）における自立度を高めて行く。
- (2) 職員の質（知識・技術・意識）の向上
 - ・倫理・死生観を養い、人の命の重さを考えた上で、介護を行う。
 - ・入居者様に入居して良かったと思って頂けるよう、どんな時でも、入居者様やご家族様の立場に立って考え、責任を持って行動できる力を養う。
 - ・施設内の勉強会・施設外の研修会に参加する機会を設け、職員のモチベーションを上げ、意識の向上と新人職員だけでなく中堅職員の育成にも繋げる。
 - ・看護師との連携を強化し、入居者様の日々の状態を把握し、異変を早期に見て見できる力を養う。
 - ・「5」のつく日の『スマイルディ』では、日頃より一層、言葉遣いに注意し笑顔を絶やさず、職員間でも注意し合う環境を作る。

(3) サービスの質の向上

- ・日々の生活の中で、買い物ツアーや外出行事、ボランティアの導入、地域行事へ参加していく。また、今年度からは特に地域の幼稚園児や小学生との交流を深め、入居者様に生きがいや安らぎを持っていただくよう努める。
- ・個々のニーズに合わせたレクリエーション、短時間・少人数制のレクリエーション、おやつ作りなど充実した余暇の提供に努める。
- ・一人一人の生活リズムに合わせたケア、プライバシーに配慮したケアなどを心掛け、ケアプランの実践・モニタリングの強化を行い個別ケアの実施にも努めていく。
- ・認知症の方に対してのケアについては、職員一人一人が認知症に対する理解や知識を深め、入居者様の生活暦を再度把握し、その方らしい生活を送って頂けるケアの充実に努めていく。
- ・事故に関しては、事故報告書やヒヤリハット報告書を有効に活用し、会議などで検討会を実施し、事故を起こさないよう職員一人一人が意識をすることにより、危険予測を行った介護の実施に努める。

(4) チームワークの構築

- ・職員同士で活発に意見交換が行える環境づくりを行い、何でも言い合える人間関係の構築に努める。
- ・職員間での情報の共有化を強化し、全員が把握した上で、ご利用者様の対応の統一を徹底して行う。

(5) ご家族様との太いパイプ作り

- ・ご家族様の面会の際など、コミュニケーションを取る機会を見逃さず、入居者様の状態を報告しご家族様に安心して頂く。
- ・今年度は年2回の家族会を行い、ご家族様との太いパイプ作りに努める。

(6) 生活環境の更なる向上

- ・入居者様お一人お一人の生活暦やニーズを把握し、その方らしい生活空間を提供していけるよう努める。又、安全に快適に生活できるよう職員の意識も高めながら環境の整備に努める。

(7) 短期入所者と合わせて99.5%以上の稼働率を目指す

- ・入居者様お一人お一人が日々健康に過ごしていただけるよう、環境整備を行うと共に異常の早期発見・早期対応に努める。